

誤答研究 中2編(その10)

2022. 9. 5 (月)

今回は、1次関数を式の上で判別する問題での諸問題を扱います。
式を $y = \sim$ の形に変形する必要上、等式変形が必須となります。
このシーンでは、抱腹絶倒、空前絶後の珍答が現れます。

$y = \sim$ の形を作るときの珍答

- 移項で絶対に符号を変えない頑固な生徒…
- 分数の加減はすべて仮分数にしないと気がすまない生徒…
- 絶対、分母を払わないで、最後まで分数の加減を貫くわけのわからない生徒…
- いつも左辺だけ分母を払う変な生徒… (等式の性質が分かっていません)
- b を左辺にもってくることに、かたくなに固執する生徒…
(b は切片を出す計算ですが、右辺に置いた方がはるかに易しい)
- 両方とも $y = \sim$ の形の式なのに、一方の式を $x = \sim$ に変形して他の式の x に代入する
几帳面?な生徒…
(学校で教えたのは、加減法と代入法で、等値法を使うのはこの生徒にとっては違法
なのでしょう…)

珍な現象は、数限りなくあげることができます。

等式変形シーンには、その生徒の人間性が出ます。
おもしろいといえば、おもしろい領域です。



さて、次回からは、これらの癖がなぜ悪いのか、原因は何なのか
等々について、ひとつずつ検討を加えていく予定です。
指導、あるいは教材の欠陥が見えてきます。

教材の紹介

きょうは、1次関数の最初ということで
日常生活の中から、1次関数を見つけ、式に表す問題についての教材を紹介しましょう。

1次関数とは何か，という1次関数の本質を理解をさせる超重要教材です。
だれもが嫌いな1次関数の応用問題の基本の基本の学習です。
すべての始まりです。
ここから，1次関数の大樹が育ちます。
ここをまちがえて植えると，1次関数は「枯れ」ます。
要注意！

■◀●■【 まちがいをさせない教材 】■●▶

1次関数 No.2 **2** 1次関数の意味 ■ 1次関数の意味 ■ **クリック**

まちがいをさせない指導の数専ゼミの数学教室です。

数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: **(023)633-1086** / FAX. (023)633-1094

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp